

大雨災害からの1日も早い
復旧復興に向けて

「日向川水系・月光川水系緊急治水対策プロジェクト」始動 — 荒瀬川(酒田市)が災害復旧助成事業に採択 —

令和6年7月の大雨で甚大な被害を受けた荒瀬川(酒田市)について、令和7年1月15日に国土交通省より「災害復旧助成事業」の採択を受けました。この事業の採択を受け、県、酒田市及び遊佐町などで構成する「山形県二級水系流域治水協議会」では、荒瀬川の改良復旧を含む日向川及び月光川流域を対象とした、二級水系としては全国で二例目となる「緊急治水対策プロジェクト」を始動しました。

プロジェクトでは、荒瀬川の河道掘削、被災した河川管理施設の復旧、河川に堆積した土砂の浚渫、小屋瀧川の砂防堰堤整備、石田地区の治山施設整備などを集中的に実施するとともに、あらゆる関係者が連携して流域の復旧復興のため治水対策を推進してまいります。

河川砂防課 河川海岸工事担当 ☎ 0235-66-5715



農村RMO形成伴走支援セミナーを開催しました

1月30日、農村RMO(農村型地域運営組織)の形成による農業農村の維持活性化を支援するため「農村RMO形成伴走支援セミナー」を庄内総合支庁講堂で開催しました。このセミナーは、昨年11月に山形大学農学部、東北公益文科大学、スケダチクリエイティブ庄内、庄内4市町と庄内総合支庁が連携して設立した「農村RMO形成伴走支援チーム」が主体となって初めて開催したもので、農村RMO形成にすでに取り組んでいる、または検討している地域の住民組織や市町担当者ら約50名が参加して行われました。

初めに庄内総合支庁より「農村RMO形成伴走支援チーム」の活動内容や、農地の粗放的利用に向けたクランベリー栽培へのチャレンジなど、県内でもいち早く農村RMOを立ち上げた酒田市日向地区、大沢地区の取組みについて説明しました。次に弘前大学教授平井太郎氏から「ありがたい姿から始める農村RMO」と題し、講演をいただきました。平井氏は「ありがたい姿」の実現に向けて、地域住民が主体的に取り組むことの重要性を話されるとともに、全国の農村RMOの取組み事例やワークショップ形式による話し合いの技法などについてもアドバイスをいただきました。



農村計画課 計画調整担当 ☎ 0235-66-5549

北楯大堰用水路の復旧状況

-令和7年度の用水確保に向けて-



令和6年7月の大雨により、県管理施設である北楯大堰用水路の法面が崩落し、その土砂により水路が閉塞し農業用水が通水不能になりました。

北楯大堰用水路は、主に一級河川立谷沢川から取水し、受益面積約2,800ha、最大通水量10.8m³/s、延長約4.9kmで庄内の基幹的農業水利施設のひとつです。

災害が起きたこの時期は、稲にとって花が咲くもっとも重要な出穂期であり、用水を多く必要とする時期になります。

このため、一級河川最上川からの用水を増量するなど関係機関の柔軟な対応により用水不足にならないようにしました。また、二次災害防止のため、被災直後から崩落した箇所仮設の排水管(φ1000mm)を設置するなど応急仮工事は9月に完成しました。

今後は、春の営農に必要な用水を確保出来るよう、本復旧工事により水路内の土砂撤去を行う予定です。



被災直後



応急仮工事後

～トピック～

北楯大堰用水路は、平成30年8月に国際かんがい排水委員会から「世界かんがい施設遺産」に山形県内の施設として初めて認定・登録された施設です。建設から100年以上が経過したかんがい施設で農業のみならず地域への発展の貢献度が高いこと、適切な維持管理がなされていることが評価されたものです。

農村整備課 施設担当 ☎ 0235-66-5670

山地災害の復旧に向けた取組みについて

～安全・安心な暮らしの実現に向けて～



庄内総合支庁では、令和6年7月の大雨災害への対応として、山地災害の復旧事業を実施しています。復旧事業は、山の斜面が崩れ落ちた「山腹崩壊」2箇所(酒田市大蔵字石田地区、東田川郡庄内町清川字花崎地区)と、斜面が広い範囲にわたってすべり落ちていく「地すべり」1箇所(酒田市山寺字侍楯地区)の計3箇所で行っています。いずれの箇所も、国の災害復旧事業として採択され、現在復旧工事発注に向けた準備を進めており(花崎地区の一部工区については工事を発注済み)、山腹崩壊の2箇所については令和7年度中に復旧が完了する見通しです。

今回の災害では、酒田市の荒瀬川流域で甚大な被害が発生しました。このため、県では、専門家からなる「荒瀬川流域山地災害検証会議」を設置し、山腹崩壊の発生要因等の調査・検証を行い、年度内に調査報告書を取りまとめる予定です。今後は、この検証結果も活用しながら、災害に強い山づくりを進めてまいります。

森林整備課 治山林道担当 ☎ 0235-66-5538



荒瀬川流域山地災害検証会議 現地検証状況



荒瀬川流域山地災害検証会議 検討状況



歴史ある「刈屋梨」産地の復旧を目指して

酒田市特産の「刈屋梨」の園地は、令和6年7月の大雨で、荒瀬川の増水による土砂の流入、樹木や果樹棚の損壊等の甚大な被害を受けましたが、復旧が徐々に進んでいます。

いち早く復旧した園地や被害が小さかった園地では、今年産の栽培に向けて、日当たりや作業性を考慮しながら、剪定や誘引(枝の棚への配置)の作業が行われています。今年も甘くみずみずしい美味しい梨を消費者に届けられるよう、先代から受け継いできた刈屋梨産地をさらに発展させる気持ちをもって取り組まれています。

産業経済部では、酒田農業技術普及課、農業技術普及課、産地研究室、農業振興課を中心に災害対応のプロジェクトチームを組んで、樹体や花芽の状態の調査や、生育を回復するための管理方法などについてJAや生産者と共に検討し、早期復旧を目指しています。

酒田農業技術普及課 ☎ 0235-66-6521



大量に堆積した土砂の除去作業



大雨の影響調査



安定生産に向けた剪定講習会

鶴岡市西目地区土砂災害復旧工事が完成しました

～早期完成へのご協力ありがとうございました～



令和4年12月31日に鶴岡市西目地区で発生した土砂災害から約2年経過した令和6年12月26日に、土砂災害復旧工事が完成しました。

発災後まもなく、被害の拡大を防ぐ応急対策を行い、地質調査や設計等を経て、令和5年8月から本格的な工事に着手しました。地域の皆様方から工事に対するご理解ご協力をいただきながら、ドローンによる測量や情報通信技術を取り入れたICT建機※の活用、受注業者間の調整による複数工種の同時施工など、作業の省力化、効率化を図ってきました。その結果、大幅な工期短縮により令和6年内の完成が実現しました。

あらためて地域の皆様や工事関係業者様など全ての関係機関の皆様方の工事期間中における御協力に対し感謝申し上げます。

(※ICT建機:情報通信技術を導入した建設業における重機)

河川砂防課 砂防担当 ☎ 0235-66-2130



～庄内での就活を応援します！～

「学生・UIJターン 庄内就職説明会」の開催

庄内地域への学生等若手人材の回帰促進と企業の人材確保を図るため、3月22日(土)、23日(日)の両日、三川町「いろり火の里なの花ホール」で、新規学卒者、既卒者・UIJターン転職希望者及びその家族を対象に、庄内地域の企業・事業所の具体的な採用情報等について説明する「学生・UIJターン 庄内就職説明会」を開催します。庄内地域に就業場所を有する115企業・事業所が参加します。企業ごとに設置されたブースで説明を受けることができ、就職相談コーナーもあります。申込不要、参加費無料です。

今回は、企業の理解をより深めていただくため、第1部として時間割に従ってグループ形式で企業の説明を聞く時間を設けるほか、第2部として1対1で個別具体的な相談ができる時間を設けています。採用担当者から事業の概要、業務内容、ワークライフバランスの取り組み等を直接聞くことができる絶好のチャンスです。

詳しくは『庄内就職説明会』で検索してください。



昨年度説明会の様子

地域産業経済課 産業振興担当 ☎ 0235-66-5485

学生・UIJターン 庄内就職説明会

対象者

- ① 令和8年3月卒業予定者を中心とした学生
- ② 既卒者・UIJターン転職希望者 ※0歳の家族も参加可能

実施方法

- ▶1対複数 13:00～15:00 時間割に従って最大4社の説明を聞くことができます
- ▶1対1 15:00～16:30 先着順で個別具体的な相談・質問に対応できます 質疑・帰路内容の説明を聞くことも可能です

申込不要 入退自由 参加費無料

- ▶企業ごとに設置されたブースで説明を受けることができ、就職相談コーナーもあります
- ▶山形県庄内地域に就業場所を有する企業が**2日間で115社参加予定**
- ▶交通費の助成を利用できる場合があります

詳細はこちら

令和7年 3月22(土) 23(日)
13:00～16:30 (受付開始12:00)
いろり火の里「なの花ホール」
山形県東田川郡三川町大字横山字堤172-1 TEL:0235-66-4863

交通アクセス

- ▶庄内空港から 車で10分
- ▶JR鶴岡駅から 車で7分

主催 庄内地域雇用対策連絡協議会 お問い合わせ先 山形県庄内総合支庁 地域産業経済課 TEL.0235-66-5485

～水素エネルギーの活用について学ぶ～ 再生可能エネルギーセミナーを開催！



12月13日(金)、「水素エネルギー」をテーマとしたセミナーを庄内総合支庁講堂で開催しました。セミナーでは、「山形県水素ビジョン」の概要や県の水素関連の事業についてを説明を行った後、水素分野の第一人者である東京大学先端科学技術研究センターの河野龍興教授から、世界の水素エネルギー導入に関する動向、再エネを活用して構築される水素エネルギーシステム、水素貯蔵技術の進展などについて講演いただきました。参加者からは、「水素エネルギーへの期待が高まった」との声が数多くありました。

あわせて、支庁玄関前では燃料電池自動車(FCV※水素を燃料として発電し走行時にCO2を排出しない)を展示しました。セミナーの参加者だけでなく、来庁者や職員も足を止めてスタッフに質問するなど、環境に優しい未来の車に好奇心をくすぐられていました。

今後も、水素の利活用や再エネの導入によるカーボンニュートラルの実現に向けて普及啓発に取り組んでまいります。

環境課 環境企画・自然環境担当 ☎ 0235-66-4744



講演の様子



燃料電池車の展示

『銀座「庄内砂丘あさつき」フェア』を開催しました



2月12日(水)～18日(火)、首都圏での庄内産食材の利用拡大に向けて、都内(銀座)で『銀座「庄内砂丘あさつき」フェア』を開催しました。

銀座地区の27店舗(中国料理店、寿司屋、イタリア料理店等)に参加いただき、期間中に各店舗で考案したあさつき料理を提供していただきました。

参加いただいた飲食店関係者からは、「他県産のあさつきは緑色だが、庄内砂丘あさつきは緑色の部分と白色の部分美しいコントラストをなしている」「形が立派」「香りがよい」といった評価をいただきました。

今後、参加店舗にアンケート調査を行い、庄内砂丘あさつきを含む庄内産食材のさらなる利用拡大策を検討していきます。

あわせて、本フェア終了後も参加店舗から庄内砂丘あさつきを使っていただけのように、店舗に働きかけるとともに、首都圏での消費拡大についても取り組んでいきます。

地域産業経済課 農産物利用拡大・調整担当 ☎ 0235-66-5725



「あさつきの炒め物」豚そぼろ、干し海老、鷹の爪入り
(提供料理の一例)

『生産者の課題解決ゼミ』～おいしいをつたえる方法～を開催しました

1月24日(金)、農林水産物の商品価値向上につながる取組みを後押しするため、デザインを活用した商品づくりをテーマとした「生産者の課題解決ゼミ ～おいしいをつたえる方法～」をいろり火の里の花ホールにて開催しました。

庄内地域のデザイナー3組を招いて、事例紹介、トークセッションを行い、企画段階からデザインを活用する重要性や、消費者の心をくすぐるキャッチコピーの導き方などをお話いただきました。

その後の交流会では、デザイナーが携わった加工品を直接手に取って試食をしながら、参加者とデザイナーが自由に交流しました。

参加者からは「デザインを通じたブランドの伝え方を知ることができた」「これまで交流のなかったデザイナーと知り合うきっかけになった」との声が寄せられ、デザイン活用への関心を深めていました。

地域産業経済課 農産物利用拡大・調整担当 ☎ 0235-66-5490



トークセッション(左)



試食をしながらの交流(右)



上郷揚水機場の改修工事が完成 —農業水利施設の長寿命化へ—

県営基幹水利施設ストックマネジメント事業として酒田市成興野地内で改修工事を実施していた上郷揚水機場が今年度で完成しました。

上郷揚水機場は、昭和41年に築造し50年以上経過した農業水利施設です。一級河川最上川の草薙頭首工を水源として上郷揚水機場で揚水した後、約114haの田んぼへ農業用水をかんがいしています。

農業用水を安定的に確保するため、令和2年度より主ポンプ設備・電気設備・建屋等を改修し既存施設の有効活用・長寿命化を図るための更新整備を行ってきました。

庄内管内には、県営造成基幹水利施設が400以上あり、計画的に施設の改修を進め農業水利施設の長寿命化を図ることとしております。

農村整備課 施設担当 ☎ 0235-66-5670



庄内空港の早朝便は乗って便利！当たってうれしい！ 『庄内の旬のフルーツ定期便』プレゼントキャンペーン

庄内空港利用振興協議会では、搭乗率が低い早朝便・冬季間の利用を促進するため、3か月連続で「朝はおいしい庄内キャンペーン」を展開しています。

第3弾となる3月は、ANA393便(羽田発7:15)、ANA394便(庄内発7:10)の早朝便に搭乗されたお客様を対象に、庄内産の『いちご』『さくらんぼ』『庄内砂丘メロン』『小玉すいか』を旬の時期に定期便としてお届けするプレゼントキャンペーンを実施します。[対象搭乗期間R7.3.1~R7.3.31、応募期間R7.3.1~R7.4.5]

早朝便に乗れば、日帰り旅行も楽しむことができ、乗継利用ではお昼までに九州・沖縄にも行けるのでとても便利です。

庄内-羽田線は2025年上期も期間増便が継続し、3月から5月までと10月(10/1~25)の期間、1日5往復で運航されます。みんなでたくさん利用して、もっと便利な庄内空港にしていきましょう！

総務課連携支援室 ☎ 0235-66-5440

朝はおいしい庄内
第3弾
庄内空港発 羽田空港着
早朝便に乗って
庄内の旬のフルーツ定期便
プレゼントキャンペーン
対象 3/1~3/31 ANA393便またはANA394便をご利用の方
(搭乗時1名様)
【食品】庄内の旬のフルーツ定期便(全4回) 毎週より10名様
4月 いちご (贈り物200g)
6月 さくらんぼ (贈り物100g)
7月 庄内砂丘メロン (贈り物2kg)
8月 小玉すいか (贈り物2kg)
※応募者総数により、抽選で贈り物が変更される場合があります。応募資格はすべて同一です。
Wチャンス! 朝はおいしい庄内キャンペーン 第1弾~第3弾(3/1~3/31)まで
抽選で100名様に送られる庄内産の旬のフルーツ定期便(5kg) 20名様 (抽選日: 4/5)

詳しくはこちら



(応募フォーム)

お知らせコーナー

ひと足早い春めぐり！庄内ひな街道

早春の庄内各地で行われる雛展示は、「庄内ひな街道」として長く親しまれています。

庄内観光コンベンション協会では、雛展示施設でお雛様・お内裏様の着付け体験や、顔出し看板の設置等を行うとともに、3月1日から31日までの期間、「春はもうすぐ！雛めぐりクイズラリー」として6施設のお雛様をめぐってクイズに答えるキャンペーンを開催しますので、是非庄内ひな街道を巡ってみてください。

地域産業経済課 観光振興室
☎ 0235-66-5726



詳しくはこちら



3月は自殺対策強化月間です

自殺の多くは追い込まれた末の死であり、様々な原因や背景が重なることで起こります。年度の変り目は環境の変化も多く、眠れない、憂うつな気分が続く等の状態はこころの不調のサインかもしれません。

庄内保健所では、精神科医による月1回の相談や保健師によるこころの健康相談を随時受付しています。

一人でも悩まず、御相談ください。

相談窓口等の詳細はこちら



「まもろうよ こころ」
(厚生労働省)



「こころの健康について」
(山形県庄内保健所)

地域保健福祉課 精神保健福祉担当 ☎ 0235-66-4931

発行／山形県庄内総合支庁 総務企画部総務課 総合案内窓口

〒997-1392 山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19-1 TEL:0235(66)5598 FAX:0235(66)2835

山形県ホームページ
庄内総合支庁ニュース



山形県庄内総合支庁
公式Instagram



山形県庄内総合支庁
公式Facebook

